



長田地区の顔として
ふさわしい地域拠点へ

安倍川駅周辺整備事業



安倍川駅周辺整備事業

「JR安倍川駅」は、現在約9,000人／日*の乗降客があり、静岡市では安倍川駅周辺を市の「地域拠点」に位置づけています。しかし、安倍川駅自体は、限られた用地の中で請願駅**として建設されたことから、駅舎のバリアフリー化がされていないこと、駅前広場がないこと、駅へのアクセス道路が未整備であること等、多くの課題を抱えています。

現在の安倍川駅及び駅周辺



駅舎



急な階段
(エスカレーター・エレベーターがない)



狭い駅前道路
(乗降場がない)



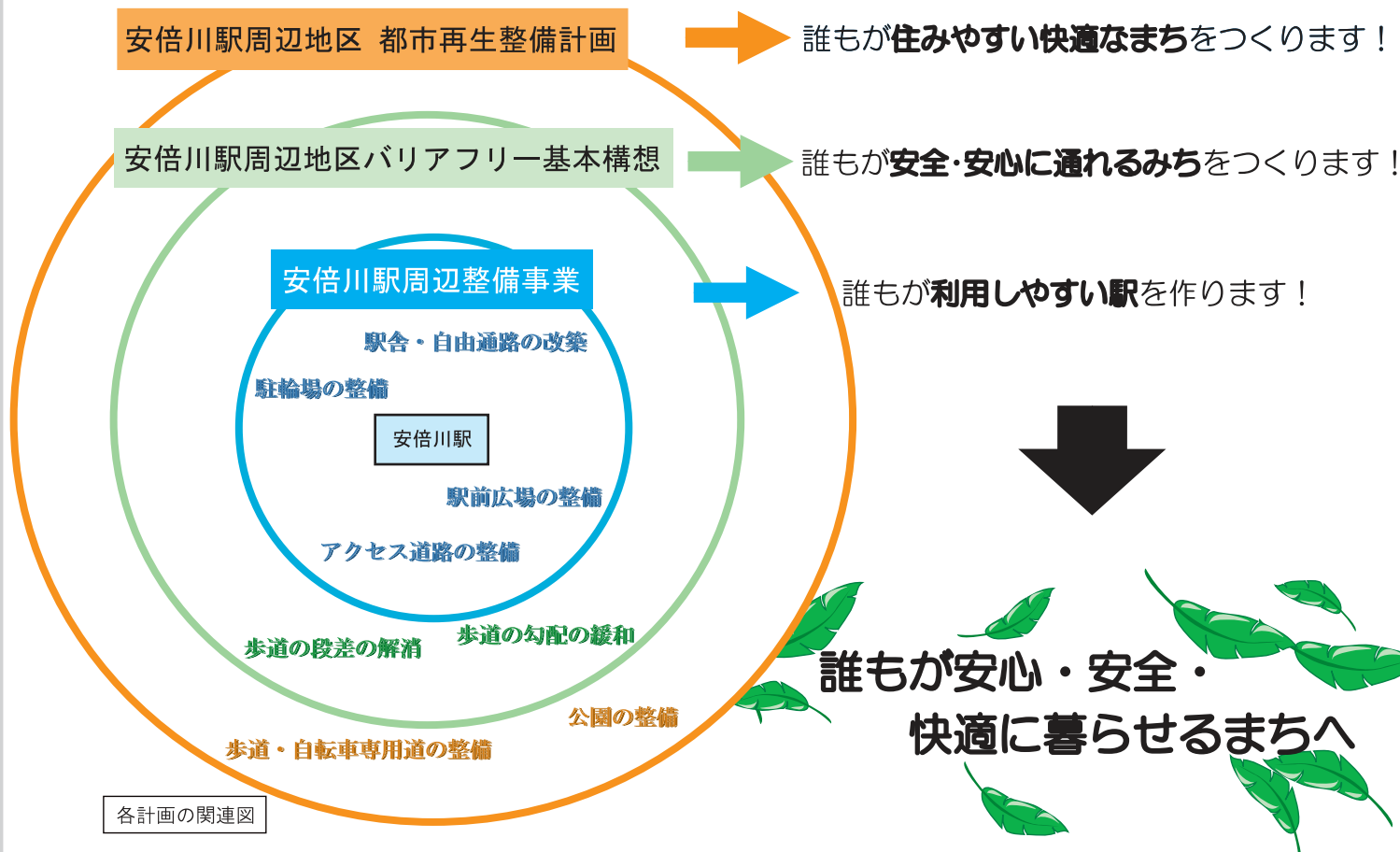
未整備のアクセス道路
(歩道がない)



狭い駐輪場

これらの課題を解決し、交通結節機能***の強化、交通環境の改善、公共交通の利用促進による環境負荷の抑制、バリアフリー化による高齢化社会への対応、都市の集約化等を進め、地域の生活・行政・文化拠点としての機能を高めていくために、次のような計画を策定し、事業の実施に向け取り組んでいます。

安倍川駅周辺地区のまちづくり



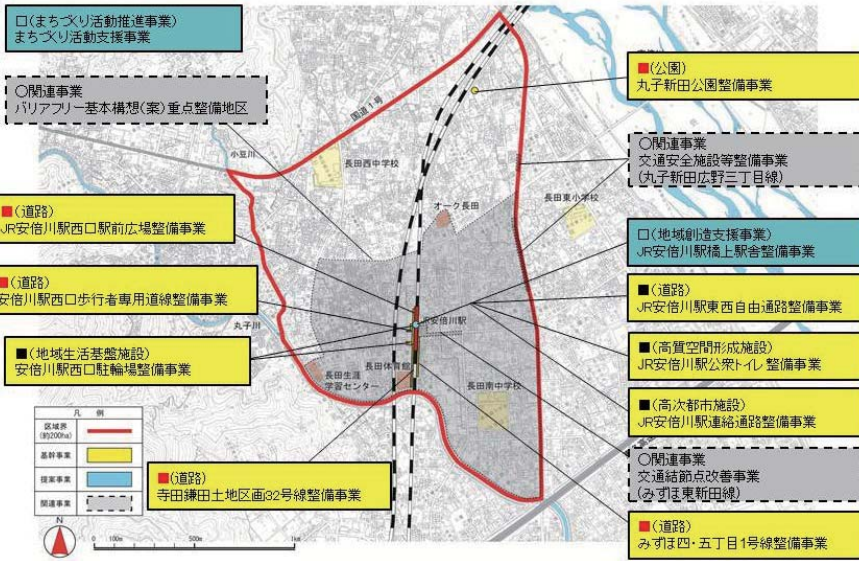
* 平成23年度実績（静岡市統計書より）

** 請願駅とは、地方自治体や地元住民等の要望により開設された駅のことです。

***交通結節機能とは、鉄道からバスへの乗り換えなど、交通機関の乗り換えや乗り継ぎを円滑に行う機能のことです。

安倍川駅周辺地区都市再生整備計画

《大目標》 「誰もが安心・安全・快適に暮らせる、幅広い世代に対応したまちづくり」



小目標

- 駅への円滑なアクセス環境を整備することで、交通結節機能の強化を図る。
安倍川駅の乗客数 UP↑
- バリアフリー化の推進によって、すべての人にやさしい生活環境を整備する。
バリアフリー満足度 UP↑
- まちの安全性の向上と地域活動の活発化によって、良好な居住環境を形成する。
まちの住みやすさ満足度 UP↑

安倍川駅周辺地区バリアフリー基本構想

《目標》

すべての人に楽しく安全な道筋づくり

《方針》

- ◇自由に日常生活・社会生活へ参加できる都市空間の形成
- ◇安全・安心・快適な歩行空間の形成
- ◇地区拠点整備・関連事業との連携
- ◇多様なパートナーシップによるユニバーサルデザインの浸透

【公共交通特定事業】 JR安倍川駅

整備項目	概要
移動円滑化された経路の確保	・改札口からプラットホームへ至る経路の段差解消
誘導・案内施設の整備	・段差解消の整備に対応したサインや視覚障がい者誘導用ブロックを経路上に適切に配置
駅構内施設の整備	・車いす利用者に対応した蹴込み付き券売機の設置 ・身体障がい者、高齢者等の使用に配慮した多機能トイレの設置

【道路特定事業】 主な生活関連経路

整備項目	概要
歩道端部等の段差解消	・車道横断部の段差改善 ・側溝蓋等の段差改善
歩道勾配の緩和	・交差点部、車両乗入部等歩道勾配の緩和 ・歩道の平坦化
連続した円滑な移動経路の確保	・歩道未整備区間の整備 ・歩道有効幅員の確保 ・連続性に配慮した視覚障がい者誘導用ブロックの整備
安全・安心・快適性の向上	・滑りにくく、水はけのよい舗装面の整備 ・照明、休憩施設の設置検討 ・道路上障害物の撤去(移設・統合等)

具体的に、
どんな事業が実施されるのだろうか？

ページを開いてご覧ください

安倍川駅周辺整備事業

【安倍川駅東口駅前広場整備 約2,800㎡】
 安倍川駅東口に、まちのシンボルとなる駅前広場を整備します。

交通手段の乗換え機能の他に、地域の人々の交流機能、情報発信等のサービス機能、災害時の防災機能等を兼ね備えています。

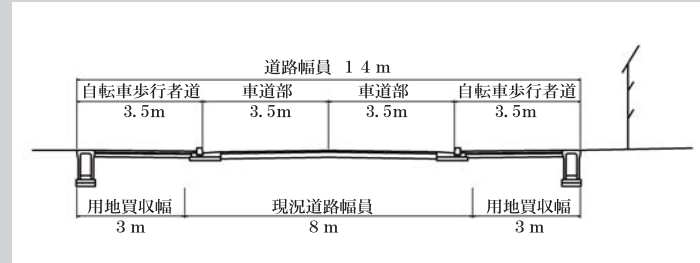
(主要施設)

- ・大型車両等回転スペースの確保/バス乗降場の確保(1台)
- ・障がい者用乗降場(1台)/自家用車乗降場の確保(3台)
- ・タクシー乗降場(2台)/タクシープール(6台)



【みずほ側アクセス道路整備 約170m 幅員14m】

都市計画道路「みずほ東新田線」を整備し、安倍川駅へのアクセス道路とします。駅舎と正対できるため、視認性に優れた道路であり、周辺の全ての都市計画道路から直接アクセス出来る交通環境が整います。



【駅舎・自由通路整備】

安倍川駅がバリアフリー化され、通路やホーム等が拡幅された駅舎と自由通路に生まれ変わります。

(主要施設)

- ・東西自由通路整備/現況2mから4mに拡幅
- ・エレベーター4基/エスカレーター4基の設置
- ・駅ホームの拡幅/バリアフリースイッチ設置



【安倍川駅西口駅前広場整備 約1,300㎡】

安倍川駅西口は、駅へのアクセスルートが狭く、少ないことや、既存市道が線路と平行していること等地形的な要因から、平行型の駅前広場として整備し、制約がある中で可能な限り交通環境の改善を図ります。

(主要施設)

- ・障がい者用乗降場(1台)/自家用車乗降場の確保(2台)
- ・タクシー乗降場(2台)



【生活関連経路整備 約420m 歩道幅員約2m】

バリアフリー基本構想に基づき、生活関連経路の歩道を整備し、駅や公共施設の利用における歩行者の安心・安全を確保します。

- ・みずほ側 約180m 歩道幅員約2m
- ・鎌田側 約240m 歩道幅員約2m

【安倍川駅西口駐輪場整備 約630㎡】

安倍川駅西口に、鉄骨3階建の自転車駐輪場とバイク置場を整備します。

(主要施設)

- ・自転車用駐輪場の建設 (約600台規模)
- ・バイク置場の設置 (約50台規模)

【西口歩行者専用道線整備 約22m 幅員4m】
 安倍川駅へのアクセス向上のため歩行者専用道を整備します。

東口駅前広場

東西自由通路

既存駅舎

新駅舎

西口駅前広場

バイク置場

西口駐輪場

歩行者専用道

生活関連経路

長田体育館

都市計画道路
みずほ東新田線

■□これまでの安倍川駅周辺整備に関する取り組み□■

- 昭和60年 3月：安倍川駅開業
- 平成6年11月：パル長田（みずほ側駐輪場）の開設
- 平成13年 9月：交通アクセス現況調査の実施
- 平成13年12月：安倍川駅周辺タウンウォッチング調査
- 平成14年12月：まちづくり勉強会の開催
- 平成15年 1月：駅利用者アンケート調査
- 平成16年 7月：JR安倍川駅周辺交通環境検討会発足
- 平成18年 3月：みずほ側駐輪場の増設
- 平成19年 9月：事業の概要について地権者説明会を開催
- 平成20年 6月：みずほ側アクセス道路・東口駅前広場の都市計画決定
- 平成20年 7月：安倍川駅周辺整備促進協議会発足
- 平成21年 6月：みずほ側アクセス道路・東口駅前広場の事業認可取得
- 平成23年 3月：安倍川駅周辺地区都市再生整備計画策定
- 平成23年 6月：鉄道事業者と自由通路及び橋上駅舎改築における事業合意、覚書の締結
- 平成23年12月：安倍川駅周辺地区バリアフリー基本構想策定
- 平成24年 2月：安倍川駅東西自由通路・西口駅前広場の都市計画決定
- 平成24年 3月：安倍川駅東西自由通路の事業認可取得
- 平成24年 7月：鉄道事業者と「自由通路及び橋上駅舎改築工事の施行その他に関する協定」締結



開設当時の様子



交通環境検討会の様子

交通のまちづくりニュースの発行

- vol. 1 (平成16年 9月)：これまでの検討を紹介
- vol. 2 (平成16年10月)：課題整理と他都市の事例を紹介
- vol. 3 (平成16年12月)：駅への交通アクセス案を紹介
- vol. 4 (平成17年 2月)：駅改善に関するアンケート調査結果を速報
- vol. 5 (平成17年 3月)：駅改善に関するアンケート調査結果を報告
- vol. 6 (平成18年 1月)：機関との協議・アクセスの考え方を紹介
- vol. 7 (平成18年 7月)：これまでの経緯と今後の予定を紹介
- vol. 8 (平成20年 1月)：地権者説明会の報告
今後の予定を掲載
- vol. 9 (平成20年 7月)：アクセス道路及び東口駅前広場
都市計画決定の報告
今後の予定を掲載
- vol. 10 (平成21年12月)：みずほ側事業認可の取得とまち
づくり座談会の開催結果を掲載
- vol. 11 (平成24年 3月)：バリアフリー基本構想の紹介
東西自由通路及び西口交通広場
の都市計画決定を報告



～ 交通のまちづくりニュース ～

安倍川駅周辺整備促進協議会の開催

(交通環境検討会から平成20年7月に格上げされて設立)

- 平成20年 7月：安倍川駅周辺地区バリアフリー
基本構想(案)の修正内容を説明
- 平成21年 4月：都市計画決定の内容を説明
- 平成22年 5月：昨年度取り組み状況、今後の事業
計画を説明
- 平成23年 1月：事業の進捗状況及びバリアフリー
基本構想(案)を説明
- 平成24年11月：事業の進捗状況の説明及びまちづく
り支援事業(案)の提案

発行

静岡市 都市局 都市計画部 市街地整備課

TEL : 054-221-1413 E-mail : shigaichi@city.shizuoka.lg.jp

FAX : 054-221-1117 http://www.city.shizuoka.jp/

※ 本資料内の図やイラストは案であり、今後変更されることがあります。